

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

| | |
|------|---|
| 対象部局 | 国際学部 |
| 大項目 | 0 理念・目的 |
| 中項目 | |
| 小項目 | 0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。 |
| 要素 | 理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応 |
| 小項目 | 0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。 |
| 要素 | 構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法 |
| 小項目 | 0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。 |
| 要素 | |

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2010年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 | | | |
|--|---|------|------|------|------|
| | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 毎年度、教授会にて理念・目的について懇談し、その確認を行う。 なお、懇談内容については継続性を保つために記録をとり、次年度以降の懇談時に参考資料とする。 | → 1. 指標：当該年度における教授会での懇談（理念・目的について）の有無 評価基準：（当該年度に）実施した…評価A、実施しなかった…評価D | A | A | | |
| | | | | | |
| 2011年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | | | | |
| | → | | | | |
| | → | | | | |

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

| | |
|-------|--------------------|
| ★ 目標1 | 4月13日の教授会にて懇談を行った。 |
| 備考 | |